

平成30年第4回（9月）上越市議会定例会

厚生常任委員会資料【所管事務調査】

上越地域医療センター病院の改築に向けた検討状況について

上越地域医療センター病院基本構想（案）	・・・・・・・・	1～11
パブリックコメントの概要について		
上越地域医療センター病院基本構想	・・・・・・・・	別冊

上越地域医療センター病院基本構想（案） パブリックコメントの概要について

1 基本構想策定までの経過と今後の予定

期日	内容
平成 30 年 4 月 5 日(木)	・上越地域医療センター病院基本構想策定委員会（以下、「策定委員会」という。）から市長へ報告書の提出
平成 30 年 6 月 14 日(木)	・厚生常任委員会所管事務調査で基本構想（案）について報告
平成 30 年 6 月 18 日(月) ～7 月 17 日(火)	・パブリックコメント実施(30 日間)
平成 30 年 7 月 4 日(水) 7 月 7 日(土)	・市民説明会開催 7 月 4 日(水) 市民プラザ第 1 会議室(参加者 16 人) 7 月 7 日(土) センター病院園芸療法室(参加者 23 人)
平成 30 年 8 月 21 日(火)	・「上越地域医療センター病院基本構想」策定
平成 30 年 8 月 23 日(木)	・パブリックコメント意見提出者への回答送付
平成 30 年 9 月 10 日(月) ～10 月 9 日(火)	・パブリックコメント結果及び基本構想の公表(30 日間)

2 パブリックコメントで寄せられた意見の件数と反映状況

(1) パブリックコメントで寄せられた意見の件数

54 人、98 件

(2) 意見に対する反映状況

(単位：件)

区分	基本構想（案）に関する意見				基本構想（案）以外の意見	計
	反映	一部反映	反映不可	記載済		
件数	5	0	13	58	22	98
構成比	5.1%	0.0%	13.3%	59.2%	22.4%	100%

(3) 意見の概要

意見の内容	件数	構成比	意見反映等の区分と件数			
			反映	反映不可	記載済	基本構想(案)以外
建設場所	25件	25.5%	0	12	13	0
費用	13件	13.3%	0	0	12	1
交通アクセス	13件	13.3%	0	0	13	0
機能	7件	7.1%	0	1	5	1
工期	5件	5.1%	0	0	5	0
住民への説明等	5件	5.1%	5	0	0	0
福祉との連携	4件	4.1%	0	0	0	4
その他	26件	26.5%	0	0	10	16
合計	98件	100%	5	13	58	22

3 パブリックコメントで寄せられた主な意見と市の回答

(1) 対応状況を「反映」と判断した5件のうちの主な意見

○反映 住民への説明等に関する意見

意見 ①	<p>工事にあって騒音・振動などが予想されるが、事故防止対策を含めて、近隣住民の理解を得られるように説明をしてほしい。</p>
	<p>工事期間中は、周辺道路を通学等に使用している児童・生徒の安全確保に充分留意してもらいたい。</p>
回答	<p>現在地での改築には、工事に伴う騒音や振動等の課題があり、その軽減を図ることができるよう、基本計画の策定時に最大限考慮するとともに、病院職員や患者等にも理解と協力を求めていく必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、基本構想 44 ページ③に以下のとおり追加します。</p> <p>「現在地は住宅地に近接していることから、工事が周辺の住民生活に大きな影響を及ぼすことのないよう、着手する際には、その概要を地域住民に説明し、理解をいただいた上で進めていきます。」</p>

○反映 住民への説明等に関する意見

意見 ②	まちづくりの視点に民間活力による施設整備とあるが、どのようなことを考えているのか。地域住民との意見交換なども検討いただきたい。
回答	<p>いただいたご意見を踏まえ、基本構想の 44 ページ②を以下の下線部のとおり修正します。</p> <p>「センター病院を中心とする医療・介護・福祉が連携した魅力あるまちづくりに向け、<u>民間資金の活用も視野に入れながら、現在地の広大な敷地の利用について、地域住民の意見をお聴きする機会を設けて検討を進めます。</u>」</p>

(2) 対応状況を「反映不可」と判断した 13 件のうちの主な意見

○反映不可 建設場所に関する意見

意見 ③	上越地域医療センター病院の基本構想については全く新しい発想がなく病院職員のモチベーションアップ、効果的な病棟配置、工期、そして通院患者の公共交通機関を利用した利便性の配慮に欠ける。
回答	<p>センター病院は、回復期・慢性期を担う病院として急性期病院や開業医から高い評価をいただいています。また、病院経営を取り巻く環境が厳しい状況にある中で、黒字経営を続けており、機能、経営の両面で評価と信頼を得ているものと認識しています。</p> <p>したがって、センター病院は、改築後も、現在の機能を大きく転換する必要はなく、回復期・慢性期機能を中心に担っていくことが肝要と考えています。また、地域最大規模のリハビリテーション機能を有していることから、その機能の拡充を図るとともに、病院の特長をいかしながら、医療・介護・福祉の連携を発展的に強化し、センター病院を中核とする地域包括ケアシステムの構築を推進していくこととしたところであります。</p> <p>また、基本構想をさらに具体化する基本計画の策定過程においては、良質な医療と快適な療養環境を提供していくため、現病院で課題となっている患者や職員の動線の改善を図るとともに、病棟配置など各部門別の計画などについて検討を進めることとしています。あわせて、現在地改築において課題となる工期の短縮に向けた検討を進めるとともに、市民の利便性確保や、病院職員の働きやすさなど、モチベーションの向上にも配慮しながら、よりよい病院づくりを目指していきます。</p>

○反映不可 建設場所に関する意見

<p>意見 ④</p>	<p>診療圏の範囲からして、現在地での建設でよいのか？ ①大合併されている上越市において、通勤や通院の交通アクセスは重要であるが、その担保はなされているとは思えない場所。 ②土壌汚染対策等を考えると、コストの拡大、工期の長期化が最も懸念される。 ③少ないデータで比較検討されているが、ベストな状況とは言えない。理解しようにも困難である。特に、事業費に対してのコスト比較が適正かどうか不安だ。</p>
<p>回答</p>	<p>①救急搬送や通院の車両が多く出入りする高度急性期あるいは急性期を担う病院では、自動車による交通アクセスが特に重視されますが、センター病院は、改築後も回復期・慢性期機能を中心に担っていくことから、3か所の建設候補地の間でアクセスの優位性には大きな差はないものと考えます。 ②現病院の敷地で土壌汚染が確認された際は、現在地改築、移転改築いずれの場合であっても、除去するための手続きと費用が必要になるものと考えています。 なお、現在地で改築する際に、土壌汚染が確認され、除去作業を行う場合は、改築の全体工期が長期化することも見込まれますが、それを考慮した上でも、現在地での改築は総合的に優位性が高いと考えています。 ③策定委員会における建設候補地の検討に当たっては、検討の視点と資料を提示し、これを基に議論が重ねられ、委員の求めに応じて必要となるデータも追加しながら、各候補地についての理解を深めていただくよう努めてきました。この段階においてお示しする客観的なデータとして不足はなく、公平性も保たれていたものと認識しています。 事業費は、建物本体の工事費を1㎡当たり45万円と設定するなど、一定の条件の下で試算した概算額を示すものです。したがって、今後の物価、賃金等の動向により、事業費の概算は変動する可能性があります。いずれにしても、3か所の建設候補地の比較において、南病棟を活用できる現在地改築が事業費の面で優位にある状況は変わらないと考えています。</p>

○反映不可 建設場所に関する意見

<p>意見 ⑤</p>	<p>建設地は大和6丁目が適している。民間活力による整備が期待でき、上越市全体を考える時、波及効果が大きく全市民の利益につながる。</p> <p>何故、現在地での改築なのか良くわかりません。お金のことは確かに差がありますが、新幹線の傍ではいけないのでしょうか。将来の発展が期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>上越地域医療センター病院も上越妙高駅近くに建設されることが望ましいと考えます。その理由の一つは、病院という公共施設の立地です。病気を治すため、検査のため、そしてリハビリのために入る病院は患者だけでなく、患者の家族、親戚、知人などにとっても利用しやすい場所にあってほしい。</p>
<p>回答</p>	<p>建設候補地として、大和6丁目为上越妙高駅に隣接しているという優位性があることは認識しています。策定委員会においても、3か所の候補地について、それぞれの優位性や課題を挙げながら、闊達な議論が行われました。その結果、同委員会からは、いずれの候補地も一長一短があり、1か所に絞り込むまでには至らないため、市が責任をもって建設場所を決めるよう求められたところです。</p> <p>センター病院を始め、大規模な病院には、患者のみならず様々な方が大勢訪れることから、周辺地域は活性化し、まちづくりの拠点になる可能性がありますと考えています。このため、市の内部においても、担当の健康福祉部だけでなく、企画政策部、財務部、都市整備部等の関係課職員による検討チームを編成し部局横断的な検討を進めるとともに、政策監会議においても慎重な議論を重ね、センター病院の改築を進める上での整備基本方針を以下のとおり定めました。</p> <p>①上越地域の回復期・慢性期機能の中核を担い、病病連携、病診連携の要としての役割を果たしながら、地域住民に必要とされる医療を提供する。</p> <p>②医療・介護・福祉の連携を強化し、センター病院を中核とする地域包括ケアシステムを構築する。</p> <p>③改築後においても、将来にわたり必要とされる医療を持続的に提供できるよう安定経営に努める。</p> <p>また、平成28年度に持続可能なまちの構築、いわゆるコンパクトなまちづくりに向けて策定した「上越市立地適正化計画」との整合も図りながら、建設場所については、将来にわたってセンター病院を拠点とするまちづくりを持続していくため、「機能と規模の持続性」、「病院を拠点としたまちづくり」、「経営の安定性」の3つの視点を踏まえ、総合的に判断し、現在地での改築方針を決定したところです。</p>

○反映不可 機能に関する意見

意見 ⑥	小児科の設置と子供（幼児）リハビリテーションの更なる充実を図っていただきたい。
回答	<p>センター病院は、上越地域において小児を対象とするリハビリテーションを実施している数少ない医療機関です。引き続き、ニーズを把握するとともに、医師を始めとするスタッフの確保に努めながら、更なる充実が図られるよう検討を進めます。</p> <p>なお、診療科については、現在、開設している内科（総合診療科含む）、外科、整形外科、リハビリテーション科、肛門外科、児童精神科、麻酔科の7科を維持するとともに、地域に不足する医療を踏まえた診療科の設定を検討していきたいと考えていますが、小児科の新設は現時点では想定していません。</p>

(3) 対応状況を「記載済」とした58件のうちの主な意見

○記載済 建設場所に関する意見

意見 ⑦	<p>センター病院の患者実績からも、高田地区住民の利用者が、多いことから、現在地での改築が他の地域での新築より、一番おさまりが良いと考える。</p> <p>現センター病院の患者数は高田地区住民が32.6%と多く、南病棟を利用することで建設費用の負担が軽減され、現在地改築の場合は国から10億5千万円の補助交付金があるので、健全経営（市・病院）をするために現在地での改築を望みます。</p>
回答	<p>ご意見のとおり、センター病院の外来患者数については、高田区の利用者が多いことを把握していますが、建設場所の選定に当たっては、①地域医療構想を踏まえた「機能と規模の持続性」、②医療・介護・福祉の連携による「病院を拠点としたまちづくり」、③持続的なサービスの提供を可能とする「経営の安定性」の3つの視点で総合的に検討し、現在地での改築方針を決定したところです。</p>

○記載済 費用に関する意見

意見 ⑧	<p>税収の増が見込まれない人口減少と高齢化社会では、健全経営が第一であります。上越市の財政計画から見ても、現在地の建設で赤字とならない建設基本構想としていただきたい。</p>
回答	<p>事業費は、健全経営の観点を踏まえ、開院後数年をめどに病院経営（病院事業会計）が単年度の収支シミュレーションで黒字化を実現できるよう上限を定め、さらに精査します。</p>

○記載済 費用に関する意見

意見 ⑨	<p>センター病院の起債残高がまだ 16 億円もある。現在地改築の場合、他の候補地より 20 億円から 30 億円の軽減が試算されている。南病棟をそのまま活用できることから、費用が抑えられ更に 10 億円余りの国からの補助金も活用できる。公立病院である以上、経営の安定性を最優先で考えるべき。</p>
	<p>上越市の人口減で将来にわたって多額の借金を残すべきではなく、少しでも借金額が少なく改築してほしい。</p>
回答	<p>人口減少と高齢化が進む中、医療等のサービスを継続的に提供していくためには、経営の安定性と確実性を確保することが重要と考えます。改築事業費の抑制に努めながら、市民が利用しやすく、また、病院職員が働きやすい、より良い病院づくりを目指します。</p>

○記載済 交通アクセスに関する意見

意見 ⑩	<p>出入り口道路のアクセスの悪さが指摘されているが、北側道路の拡幅と南側の和田地区からの出入れ道路の整備の方向性を示していただきたい。</p>
	<p>道路アクセスについて、上越南インター線から直接センター病院へ入れるようにしていただきたい。</p>
回答	<p>病院へのアクセスの改善については、現在の北側からのアクセス道路を拡幅する方法や南側からのアクセスとして、道路や橋を新設する方法があり、基本計画の策定過程で検討を進めることとしています。</p>

○記載済 機能に関する意見

意見 ⑪	<p>病院として、さらに機能を高め、質の良い医師の確保、既存の病院職員の意向を尊重し、活気があり、品質サービスの高い、病院を確立してほしい。</p>
回答	<p>より良い病院づくりを目指し、新病院の整備基本方針を以下のとおり定め、改築を進めていきます。</p> <p>①上越地域の回復期・慢性期機能の中核を担い、病病連携、病診連携の要としての役割を果たしながら、地域住民に必要とされる医療を提供する。</p> <p>②医療・介護・福祉の連携を強化し、センター病院を中核とする地域包括ケアシステムを構築する。</p> <p>③改築後においても、将来にわたり必要とされる医療を持続的に提供できるよう安定経営に努める。</p> <p>なお、今後も随時、病院職員との意見交換の場を設けていくこととしています。</p>

○記載済 機能に関する意見

意見 ⑫	高齢者が（診察が終わった後、入院中の人、近隣の人等）気楽に立ち寄れるサロンみたいな場所があれば良いと思う。
回答	基本構想では、会議室やコミュニティスペースの整備について検討を進めることとしており、基本計画の策定過程において具体化に向けた議論を行います。

○記載済 工期に関する意見

意見 ⑬	決定後は、工期の短縮に最大限の努力をいただきたいと思います。
回答	<p>現在地での改築では、工期の長期化が課題の一つとなることから、短縮に向けた工夫を検討するとともに、患者の利便性や職員の働きやすさに配慮します。</p> <p>基本構想をさらに具体化する基本計画の策定過程において、デザインビルド方式（設計・施工一括発注）など、最適な整備手法について議論し、選定することにより、工期短縮や事業費縮減につなげていきます。</p>

○記載済 その他の意見

意見 ⑭	新病院建設にあたり、土壌汚染の地質調査などで汚染物質が懸念されるが適正な処理をして、市民に安心安全な病院となるように留意いただきたい。
回答	<p>他の公立病院の改築事例から、敷地は土壌汚染対策が必要となることが多く、センター病院についても同様と考えています。土地の形状を変更する際には土壌調査が必要になります。また、アスベストについては、建物解体前の分析調査が必要です。</p> <p>病院の改築に当たっては、土壌汚染等の法的問題を適正に処理した上で、安全に作業を行うことはもちろん、できる限り早期に調査を実施し、事前に工期設定などへ反映していきます。</p>

○記載済 その他の意見

意見 ⑮	リハビリテーション機能の拡充の通所リハビリテーションの実施をぜひお願いしたい。義母が存命中、大腿骨骨折で中央病院で手術退院後、リハビリをしてくれる施設がなく、センター病院に相談しましたが受け入れてもらえず、その後デイサービスでのリハビリを見つけ通いましたが、最後まで義母はセンター病院へ行きたかったと言っていました。まだまだリハビリをしっかり行ってくれるデイサービスは少ないので、通所リハビリの実施には大きく期待しています。
回答	センター病院は、地域で最大規模のリハビリテーションセンターを有しており、その機能拡充を図る取組の一つとして、「他の事業所とは異なる特色を持った通所リハビリテーションの実施」を検討することとしています。

○記載済 その他の意見

意見 ⑯	病児保育にあわせて病後児保育も考えてほしい。
回答	病児保育については、市の北部1か所に限られていることから、市の南部に新たに整備する必要があると認識しており、センター病院に設置できないか、検討していくこととしています。 病後児保育については、現在、寺町2丁目の福祉交流プラザに開設していることから、センター病院に病児保育の設置を検討する際に、福祉交流プラザの病後児保育との連携の在り方を検討していきます。

(4) 対応状況を「基本構想(案)以外」とした22件のうちの主な意見

○福祉との連携に関する意見

意見 ⑰	グループホーム等に通所施設、医療的ケア児放課後等デイサービスなどの他の事業も作ってほしいです。放課後デイサービスを実施するのであれば、医療的ケアを必要とする児、者の送迎の問題が深刻となっているので、看護師同伴の移動支援サービスを考えてほしいです。
回答	センター病院では、医療・介護・福祉の連携の取組の拡充に向けた新たな取組として、重症心身障害者グループホームへの支援について検討を進めることとしています。 今後は、上越市障害者福祉計画等の方向性を踏まえながら、グループホームの整備事業者、グループホームに併設する機能等、具体的な取組内容については、関係者と協議を進めていく必要があると考えています。

○策定委員会の進め方に関する意見

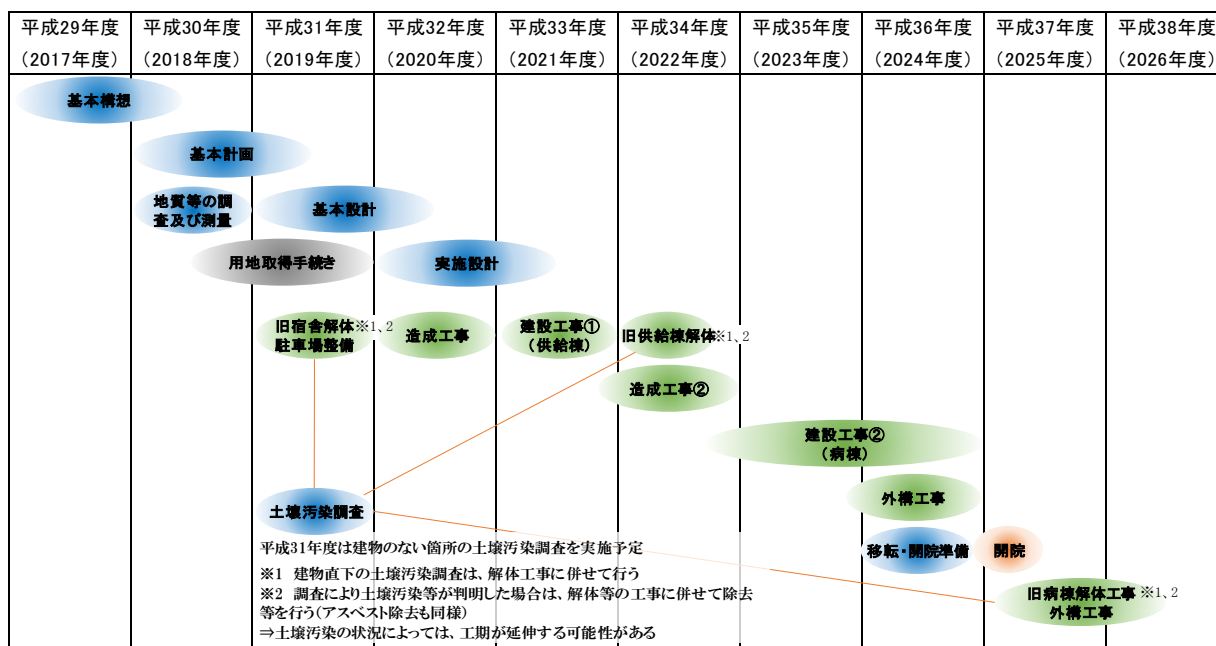
意見 ⑱	<p>今回3つの地域で対象地となり、委員会が結成されそれぞれに意見をまとめ、市に訴えてきたようですが、そこにこれから生きる若者達（20代～30代）の意見はどれくらいくんだでしょうか。現所在地委員会の顔ぶれでは10年後には自分が介護になり近くにあれば都合がいいという安易な考えはないでしょうか。次世代の事をも考えてありますか。</p>
回答	<p>策定委員会の委員については、病院や診療所の医師、福祉や介護の現場の方々をはじめ、センター病院の基本構想を策定する上で必要となる専門性や優れた高度の知見を有する方のほか、公募による2人の市民を委員に選任し議論を進めてきました。公募委員も含めて20歳代、30歳代の方はいませんが、議論の中で、とりわけ財政面から、今の若い世代や孫の世代まで負担を求めることについての意見交換なども活発に行われ、次世代のことも考えた議論を行ってきたものと認識しています。</p>

○策定委員会の進め方に関する意見

意見 ⑲	<p>改築候補地に挙げられた3地区について、検討委員会の中で地域の思いを直接聞くプレゼンテーション的な場面を設けられた方が良かったのではないかと。</p>
回答	<p>各候補地から市に寄せられた要望書等の写しを基本構想策定委員会へ提示し、委員の皆さんからは、関係者の皆さんの思いを受け止めながら、真剣に議論を重ねていただいたものと認識しています。</p> <p>また、建設場所の選定についても、検討の視点や資料を基に議論が重ねられ、必要となるデータも追加しながら、各候補地についての理解を深めていただくよう努めてきたところです。</p>

4 今後の予定

(1) 改築スケジュール (見込み)



※一般的な計画・設計段階における検討事項等

- ①基本構想……規模、診療機能、スケジュール、収支計画、概算予算、敷地選定など
- ②基本計画……基本構想を踏まえた具体的な計画（基本設計を進める上での設計と条件）
病棟・外来・診療・供給・管理部門の各面積、医療機器等の導入計画、建設工事費を含めた事業費の設定など
- ③基本設計……基本計画を踏まえた基本設計図の作成、事業費の確認など
- ④実施設計……基本設計図をベースにした工事発注用の図面作成、工事費積算の段階